

令和5年度事業報告



日本赤十字社山梨県支部

目 次

I 支部事業について

- 1 救援活動について 1
- 2 赤十字講習の普及状況について..... 4
- 3 赤十字ボランティアの活動状況について..... 7
- 4 青少年赤十字の活動状況について..... 1 2
- 5 献血事業について..... 1 7
- 6 赤十字社旨普及活動について..... 1 8

II 施設事業

- 1 山梨赤十字病院..... 1 9
- 2 山梨県赤十字血液センター..... 2 2

I 支部事業について

1 救援活動について

(1) 災害救護活動

- 令和6年能登半島地震
 - ・救護班派遣 3班 16人
 - ・連絡調整員 6人

(2) 臨時救護活動

- ・護国神社例大祭 2日(春季・秋季) 救護員 各4名(看護師2名、主事2名)

(3) 義援金・救援金

ア 義援金

義 援 金 名 称	件 数	金 額
令和5年台風第2号等大雨災害義援金	5件	31,886円
令和5年5月能登地方地震災害義援金	9件	174,939円
令和5年6月30日からの大雨災害義援金	8件	108,275円
令和5年7月7日からの大雨災害義援金	12件	443,457円
令和5年台風第13号災害義援金	17件	477,068円
令和5年台風第6号災害義援金	2件	1,814円
令和6年能登半島地震災害義援金	702件	155,969,453円
合 計	755件	157,206,892円

○受付が終了した義援金

- ① 令和5年5月能登地方地震災害義援金(令和5年9月29日受付終了)
- ② 令和5年台風第2号等大雨災害義援金(令和5年9月30日受付終了)
- ③ 令和5年6月30日からの大雨災害義援金(令和5年12月29日受付終了)
- ④ 令和5年7月7日からの大雨災害義援金(令和6年3月29日受付終了)
- ⑤ 令和5年台風第6号災害義援金(令和5年11月30日受付終了)
- ⑥ 令和5年台風第13号災害義援金(令和5年12月31日受付終了)

イ 救援金等

救 援 金 等 名 称	件 数	金 額
NHK 海外たすけあい	588件	5,812,970円

中東人道危機救援金	1件	2,755円
バングラデシュ南部避難民救援金	2件	3,755円
アフガニスタン人道危機救援金	1件	2,755円
ウクライナ人道危機救援金	36件	2,618,776円
2023年アメリカ・ハワイ火災救援金	8件	389,716円
2023年モロッコ地震救援金	7件	562,939円
2023年リビア洪水救援金	5件	533,524円
2023年アフガニスタン地震救援金	6件	550,326円
イスラエル・ガザ人道危機救援金	11件	678,180円
2023年トルコ・シリア地震救援金	19件	9,434,428円
合 計	684件	20,590,124円

○受付が終了した救援金

- ① 2023年アメリカ・ハワイ火災救援金(令和5年10月31日受付終了)
- ② 2023年モロッコ地震救援金(令和5年11月30日受付終了)
- ③ 2023年リビア洪水救援金(令和5年11月30日受付終了)
- ④ 2023年アフガニスタン地震救援金(令和5年12月29日受付終了)

(4) 救援物資配分並びに備蓄状況(令和6年3月31日)

品 名	配分数	備蓄数	備考
毛 布	29枚	5,550枚	
緊急セット	20個	837個	
安眠セット	0個	517個	

*上記以外に地区区分(市町村)に毛布2,650枚、緊急セット360個の備蓄があります。

(5) 参加訓練・研修会

月 日	行 事	会 場	参 加 者 数	
9月10日	甲府市総合防災訓練	甲府市立東中学校	救護員(救護班)	6
			災害対策本部要員	2
10月21日	第2ブロック支部総合訓練	埼玉県秩父市	救護員(救護班)	1
			災害対策本部要員	3
11月12日	甲府市自治会連合会防災訓練	自治会連合会各会場	支部職員	3

※第2ブロック支部先遣要員訓練(東京都支部担当)、第2ブロック支部被災地支部災対本部運営訓練(千葉県支部担当)については、令和6年能登半島地震災害救護活動のため中止

(6) 赤十字奉仕団員等災害救護訓練

日 程	10月13日	9月20日	9月29日	10月4日	合 計
地 区 名	峡南地域	富士・東部地域	中北地域	峡東地域	
会 場	早川町民 体育館	大月市民総合 体育館	長坂スポーツ 公園体育館	若彦路ふれあい スポーツ館	
奉仕団員	60	42	58	74	
地区分区職員	13	13	13	9	48
指 導 者	9	11	9	14	43
合 計	82	66	80	97	325

(7) 救護員養成

日本赤十字看護大学

	1学年	2学年	3学年	4学年	合 計
在学生数	0	2	1	3	6

(8) 日本赤十字社看護師同方会山梨県支部

<p>会員数 186名</p> <p>顧問 保延 登芽子 " 渡邊 和彦 " 伊藤 誠司</p> <p>会長 岡本 理恵</p> <p>副会長 清水 邦子 " 渡辺 久子</p> <p>幹事 平賀 祐湖 " 渡辺 満穂</p> <p>監事 小山 ひろ美</p>	<p>○年間活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会 新型コロナウイルス感染症の感染 拡大防止のため、文書審議 ・役員会の開催 ・山梨県護国神社例大祭での救護所開設(春・秋) ・看護婦同方会山梨県支部研修会 令和5年11月1日(水) 山梨赤十字病院 参加者:10名 ・支部主催事業への協力 ・縣市町村等関係行事への協力
--	--

2 赤十字講習の普及状況について

講習実施状況

区 分	短期講習		養成講習		合 計	
	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
救急法基礎	189	6,660	25	396	214	7,056
救 急 法	44	1,429	14	217	58	1,646
水上安全法	1	15	1	2	2	17
雪上安全法	0	0	0	0	0	0
幼児安全法	24	553	2	11	26	564
健康生活支援講習	1	3	0	0	1	3
合 計	259	8,660	42	626	301	9,286

(1) 救急法(指導員数91名)

○救急法基礎講習

主 催	月 日	会 場	受講者数
富士吉田市看護専門学校	4月7日	富士吉田市看護専門学校	45
山梨赤十字病院看護部	5月16日	山梨赤十字病院	16
株式会社トリケミカル研究所	5月26日	株式会社トリケミカル研究所 Annex 棟	15
日本赤十字社山梨県支部	5月31日	山梨赤十字病院	4
日本赤十字社山梨県支部	6月17日	日本赤十字社山梨県支部	16
山梨森林協会	6月26日	山梨県林業会館	8
帝京福祉専門学校	7月4日	帝京福祉専門学校	10
日本赤十字社山梨県支部	7月12日	山梨県スポーツ会館	2
日本赤十字社山梨県支部	7月19日	山梨赤十字会館	15
日本赤十字社山梨県支部	8月10日	山梨赤十字会館	15
日本赤十字社西八代・南巨摩地区	8月22日	中富総合会館	16
日本赤十字社西八代・南巨摩地区	8月29日	富士川町町民会館	20
飯田鉄工株式会社	9月5日	飯田鉄工株式会社	10
株式会社トリケミカル研究所	9月11日	株式会社トリケミカル研究所 Annex 棟	14
山梨県警察本部	9月12日	山梨県警察学校	27
防災ブレイメン	9月17日	甲府市北東公民館	7
日本赤十字社山梨県支部	9月27日	山梨赤十字病院	14

日本赤十字社山梨県支部	10月7日	山梨赤十字会館	17
山梨県歯科衛生専門学校	10月24日	山梨県歯科衛生専門学校	44
介護労働安定センター山梨県支部	11月1日	山梨県中小企業人材開発センター	17
日本赤十字社山梨県支部	11月8日	山梨赤十字会館	16
笛吹市赤十字奉仕団御坂分団	11月27日	学びの杜みさか	7
山梨県市町村総合事務組合	12月5日	山梨県自治会館	7
帝京福祉専門学校	12月20日	帝京福祉専門学校	13
山梨市社会福祉協議会	12月26日	山梨市民会館	20

○救急法救急員養成講習

主 催	月 日	会 場	受講者数
山梨赤十字病院看護部	5月16日 ～18日	山梨赤十字病院	16
日本赤十字社山梨県支部	5月31日 ～6月2日	山梨赤十字病院	4
帝京福祉専門学校	7月4日 ～6日	帝京福祉専門学校	10
日本赤十字社山梨県支部	7月19日 ～21日	日本赤十字社山梨県支部	15
日本赤十字社山梨県支部	8月10日 ～12日	日本赤十字社山梨県支部	15
飯田鉄工株式会社	9月5日 ～7日	飯田鉄工株式会社	10
山梨県警察本部	9月12日 ～22日	山梨県警察学校	27
日本赤十字社山梨県支部	9月27日 ～29日	山梨赤十字病院	15
山梨県歯科衛生専門学校	10月24日 ～26日	山梨県歯科衛生専門学校	43
介護労働安定センター山梨支部	11月1日 ～6日	山梨県中小企業人材開発センター	16
日本赤十字社山梨県支部	11月8日 ～10日	日本赤十字社山梨県支部	17
笛吹市奉仕団御坂分団	11月27日 ～30日	学びの杜みさか	7
山梨県市町村総合事務組合	12月5日 ～12日	山梨県自治会館	7

帝京福祉専門学校	12月20日 ～21日	帝京福祉専門学校	13
----------	----------------	----------	----

(2) 水上安全法(指導員数3名)

○水上安全法救助員養成講習 I

主催	月日	会場	受講者数
日本赤十字社山梨県支部	7月12日 ～14日	緑が丘スポーツ公園屋内・野外プール	2

(3) 幼児安全法(指導員 15 名)

○幼児安全法支援員養成講習

主催	月日	会場	受講者数
日本赤十字社山梨県支部	5月11日 ～12日	山梨赤十字病院	6
日本赤十字社山梨県支部	8月24日 ～25日	山梨赤十字病院	5

(4) 健康生活支援講習(指導員7名)

○災害時高齢者生活支援講習

主催	月日	会場	受講者数
日本赤十字社山梨県支部	8月18日	山梨赤十字病院	3

(5) 防災教育セミナー

主催	月日	会場	受講者数
市川三郷町赤十字奉仕団	5月24日	市川三郷町役場	50
県立青洲高等学校	6月30日	県立青洲高等学校	40
山梨県歯科衛生専門学校	11月27日	山梨県歯科衛生専門学校	45

3 赤十字ボランティアの活動状況について

(1) 地域赤十字奉仕団(4,948人:令和6年3月31日現在)

(単位:名)

月日	行事	会場	参加者数
5月26日	赤十字奉仕団山梨県支部委員会役員会	山梨赤十字会館	4
5月26日	赤十字奉仕団山梨県支部委員会	山梨赤十字会館	15
6月1日 ～2日	赤十字奉仕団中央委員会	本社	1
9月20日	赤十字奉仕団等災害救護訓練(富士・東部地域)	大月市民総合体育館	42
9月29日	赤十字奉仕団等災害救護訓練(中北地域)	長坂スポーツ公園体育館	58
10月4日	赤十字奉仕団等災害救護訓練(峡東地域)	若彦路ふれあいスポーツ館	74
10月13日	赤十字奉仕団等災害救護訓練(峡南地域)	早川町民体育館	60
11月10日	日本赤十字社第2ブロック赤十字奉仕団 委員長・支部担当課長会議	日本赤十字社東京都支部	1

移動献血バスに対する奉仕活動

地区・分区	回数	参加者数	地区・分区	回数	参加者数
甲府市	3	9	早川町	-	-
富士吉田市	2	8	身延町	4	23
都留市	2	6	南部町	2	6
山梨市	3	15	富士川町	4	12
大月市	2	4	昭和町	3	20
韮崎市	3	6	道志村	2	3
南アルプス市	9	33	西桂町	2	6
北杜市	11	22	忍野村	2	4
甲斐市	5	15	山中湖村	1	2
笛吹市	5	18	鳴沢村	2	6
上野原市	2	8	富士河口湖町	-	-
甲州市	5	28	小菅村	-	-
中央市	4	12	丹波山村	1	3
市川三郷町	3	10	計	82	279

(2) 青年赤十字奉仕団(12名:令和6年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
4月19日	移動採血協力	山梨大学	1
4月19日	団員募集チラシ配布	山梨大学	1
5月 1日 ～31日	大学掲示板への団員募集チラシ貼付	山梨大学	1
5月13日	青年赤十字奉仕団全国協議会(第1回)	Web 開催	1
5月18日	移動採血協力	山梨大学	1
5月27日	総会及び団員研修会	山梨赤十字会館	2
6月24日	第2ブロック支部青年赤十字奉仕団連絡協議会 (第1回)	山梨赤十字会館	2
7月29日	第2ブロック支部青年赤十字奉仕団 代表者交流会	LINE 通話	1
9月23日	第2ブロック支部青年赤十字奉仕団 代表者交流会	LINE 通話	1
11月25日 ～26日	第2ブロック支部青年赤十字奉仕団連絡協議会 (第1回)	山梨県立図書館	1
12月17日	移動献血協力(クリスマス献血)	イオンモール甲府昭和	3
12月30日	移動献血協力	イオンモール甲府昭和	1
1月2日	移動献血協力	イオンモール甲府昭和	1
2月23日	青年赤十字奉仕団全国協議会(第2回)	Web 開催	1

■定例会 随時

(3)特殊赤十字奉仕団

ア 無線赤十字奉仕団(27名:令和6年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
4月9日	非常無線通信訓練(山口島)	団員自宅	1
4月16日	非常無線通信訓練(熊本島)	団員自宅	1
4月22日	非常無線通信訓練(山梨県主催)	山梨赤十字会館	7
4月22日	総 会	山梨赤十字会館	11
5月26日	赤十字奉仕団山梨県支部委員会	山梨赤十字会館	1
5月27日	役員会	山梨赤十字会館	8
5月28日	非常無線通信訓練(鹿児島)	団員自宅	1
6月 4日	非常無線通信訓練(山口県)	団員自宅	1
7月16日	非常無線通信訓練(北海道)	団員自宅	1

8月 8日	役員会	山梨赤十字会館	9
9月 2日	非常無線通信訓練(鳥取県)	団員自宅	1
10月13日	赤十字奉仕団員等災害救護訓練(峡南)	早川町民体育館	4
10月28日	信玄公祭りボランティア	舞鶴城公園他	1
10月28日	非常無線通信訓練(兵庫県)	団員自宅	1
11月 5日	非常無線通信訓練(宮城県)	団員自宅	1
11月 5日	非常無線通信訓練(宮崎県)	団員自宅	1
11月26日	非常無線通信訓練(東京都)	団員自宅	1
12月24日	非常無線通信訓練(愛知県)	団員自宅	1
3月17日	非常無線通信訓練(福岡県)	団員自宅	1
3月24日	非常無線通信訓練(神奈川県)	団員自宅	1

イ 安全赤十字奉仕団(43名:令和6年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
4月1日	イベント救護(VF 甲府ホームゲーム救護ボランティア)	小瀬スポーツ公園	2
4月8日	イベント救護(VF 甲府ホームゲーム救護ボランティア)	小瀬スポーツ公園	2
4月16日	イベント救護(VF 甲府ホームゲーム救護ボランティア)	小瀬スポーツ公園	1
4月22日	イベント救護(VF 甲府ホームゲーム救護ボランティア)	小瀬スポーツ公園	2
4月30日	総会	山梨赤十字会館	8
4月30日	団員研修会	山梨赤十字会館	8
5月3日	イベント救護(VF 甲府ホームゲーム救護ボランティア)	小瀬スポーツ公園	2
5月13日	イベント救護(VF 甲府ホームゲーム救護ボランティア)	小瀬スポーツ公園	2
5月26日	赤十字奉仕団山梨県支部委員会	山梨赤十字会館	1
5月27日	イベント救護(VF 甲府ホームゲーム救護ボランティア)	小瀬スポーツ公園	2
6月11日	イベント救護(VF 甲府ホームゲーム救護ボランティア)	小瀬スポーツ公園	2
6月24日	イベント救護(VF 甲府ホームゲーム救護ボランティア)	小瀬スポーツ公園	2
7月5日	イベント救護(VF 甲府ホームゲーム救護ボランティア)	小瀬スポーツ公園	1
7月16日	イベント救護(VF 甲府ホームゲーム救護ボランティア)	小瀬スポーツ公園	2
8月6日	イベント救護(VF 甲府ホームゲーム救護ボランティア)	小瀬スポーツ公園	2
8月19日	イベント救護(VF 甲府ホームゲーム救護ボランティア)	小瀬スポーツ公園	2
9月9日	イベント救護(VF 甲府ホームゲーム救護ボランティア)	小瀬スポーツ公園	2
9月15日	イベント救護(VF 甲府ホームゲーム救護ボランティア)	小瀬スポーツ公園	1
9月30日	イベント救護(VF 甲府ホームゲーム救護ボランティア)	小瀬スポーツ公園	1
10月20日	イベント救護(VF 甲府ホームゲーム救護ボランティア)	小瀬スポーツ公園	2
11月3日	イベント救護(VF 甲府ホームゲーム救護ボランティア)	小瀬スポーツ公園	2
12月10日	武田の杜トレイルラン救護	武田の杜～健康の杜	2

ウ 救護赤十字奉仕団(28名:令和6年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
4月	総会	文書審議	
4月 2日	柔道大会救護活動1	小瀬スポーツ公園武道館	1
5月26日	赤十字奉仕団山梨県支部委員会	山梨赤十字会館	1
5月28日	柔道大会救護活動2	小瀬スポーツ公園武道館	1
6月11日	柔道大会救護活動3	小瀬スポーツ公園武道館	1
6月25日	柔道大会救護活動4	小瀬スポーツ公園武道館	1
7月 9日	柔道大会救護活動5	小瀬スポーツ公園武道館	1
7月16日	柔道大会救護活動5	小瀬スポーツ公園武道館	2
9月10日	柔道大会救護活動6	小瀬スポーツ公園武道館	1
9月24日	柔道大会救護活動7	小瀬スポーツ公園武道館	1
11月20日	柔道大会救護活動9	小瀬スポーツ公園武道館	1
12月10日	柔道大会救護活動10	小瀬スポーツ公園武道館	1
1月14日	柔道大会救護活動11	小瀬スポーツ公園武道館	1
2月11日	柔道大会救護活動12	小瀬スポーツ公園武道館	1

エ 赤十字救援バイクV・Sやまなし(106名:令和6年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
4月30日	総会	山梨赤十字病院	23
5月26日	赤十字奉仕団山梨県支部委員会	山梨赤十字会館	1
9月 3日	南アルプス市防災訓練	芦安地区	20
9月10日	甲府市総合防災訓練	甲府市立東中学校	19
9月10日	秋の走行・無線訓練	甲府市立東中学校～風土記農産物直売所	19

オ 青少年赤十字賛助奉仕団(30名:令和6年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
4月 7日	総会	山梨赤十字会館	7
5月 2日	加盟登録式	甲府市立南中学校	2
5月 2日	加盟登録式	甲府市立新紺屋小学校	1
5月26日	赤十字奉仕団山梨県支部委員会	山梨赤十字会館	1
6月 9日	加盟登録式	甲府市立国母小学校	2
7月10日	加盟登録式	山梨市立八幡小学校	1
7月11日 ～12日	全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	日本赤十字社本社	1
7月27日 ～28日	青少年赤十字リーダー養成 トレーニングセンター(高等学校)	山梨県立 八ヶ岳少年自然の家	3
8月 2日 ～3日	青少年赤十字リーダー養成 トレーニングセンター(小・中学校)	山梨県立 八ヶ岳少年自然の家	4

8月31日	加盟登録式	甲斐市立敷島北小学校	2
9月20日	赤十字奉仕団員等災害救護訓練(富士・東部)	大月市民総合体育館	3
9月29日	赤十字奉仕団員等災害救護訓練(中北)	長坂スポーツ公園体育館	2
10月20日	赤十字奉仕団員等災害救護訓練(峡東)	若彦路ふれあい館	3
10月27日	赤十字奉仕団員等災害救護訓練(峡南)	早川町民体育館	2
10月31日	全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会2B研究会	茨城県支部	3
11月 1日	奉仕団視察研修	茨城県	3
11月17日	青少年赤十字研究指定公開研究会	甲府市立笛南中学校	3

カ 拡大写本赤十字奉仕団(22名:令和6年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
4月	総会	文書審議	22
5月26日	赤十字奉仕団山梨県支部委員会	山梨赤十字会館	1
8月25日	教科書納入 国語(小2下)東書 11分冊		
	〃 国語(小3下)光村 8分冊		
	〃 国語(小3下)光村 12分冊		
	〃 国語(小5下)東書 11分冊		
3月28日	教科書納入 算数(小3)大日 14分冊		
	教科書納入 国語(小3上)東書 10分冊		
	〃 道徳(小3)日文 12分冊		
	〃 国語(小4上)光村 8分冊		
	〃 国語(小6)東書 18分冊		
〃 道徳(小6)学研 10分冊			
	絵本作製 いやだいやだ こねてのばして おばけのばあ ねないこだれだ しろくまちゃんのほっとけーき しらゆきひめ ゆきのひのうさこちゃん		

■活動日 毎週月曜日 拡大写本・絵本作成 22名

(4) 個人ボランティア(令和6年3月31日現在)

ア 防災ボランティア(個人登録30名・団体登録5団体:251名)

イ 防災ボランティアリーダー(11名)

ウ 防災教育指導者(6名)

月 日	行 事	会 場	参加者数
4月28日	防災教育事業主任指導者研修	Web 開催	1

エ 病院ボランティア(6人:令和5年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	活動日数
4月～3月	初診外来に来られた方への案内等	山梨赤十字病院	無し

(5) 赤十字奉仕団指導講師(10人:令和5年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
12月16日	山梨市赤十字奉仕団研修会	山梨市民会館	1

4 青少年赤十字の活動状況について

(1) 活動状況

月 日	行 事	会 場	参加者数
4月～6月	新規加盟案内 加盟登録式	各校(園・所)	
4月18日	青少年赤十字指導者協議会総会	山梨赤十字会館	指導者 36
5月29日	高校生協議会	山梨赤十字会館	メンバー 19 指導者 8
6月29日	全国指導者協議会総会	日本赤十字社本社	指協会長 1
7月 6日	青少年赤十字担当者会議(小・中)	山梨赤十字会館	指導者 22
7月 7日	青少年赤十字担当者会議(高校)	Web 開催	指導者 8
7月27日 ～28日	青少年赤十字リーダー養成 トレーニングセンター(高等学校)	山梨県立 八ヶ岳少年自然の家	メンバー 17 指導者 9
8月 2日 ～3日	青少年赤十字リーダー養成 トレーニングセンター(小学校)	山梨県立 八ヶ岳少年自然の家	メンバー 35 指導者 16
8月 2日 ～3日	青少年赤十字リーダー養成 トレーニングセンター(中学校)	山梨県立 八ヶ岳少年自然の家	メンバー 22 指導者 4
8月18日	第2ブロック支部青少年赤十字 指導者協議会総会・研究集会	日本赤十字社東京都支部	指導者 5
10月26日	高校生活動実践発表会	山梨赤十字会館	メンバー 26 指導者 7
11月17日	青少年赤十字活動研究指定校 公開研究会	甲府市立笛南中学校	指導者 75

(2) 青少年赤十字活動実践推進校・推進園

1	みかさこども園	花や野菜を育て優しさや思いやりの心を育む
2	押原こども園	様々な命に関心を持ち、触れ合う(植物・小動物)
3	和泉愛児園	自然の中で心と体作り～健康な体～
4	すみよし愛児園	緑化活動、清掃活動や炊き出し訓練などを通じて人と人とのつながりを感じ、感謝する心や奉仕する心を育む
5	つつじが崎学園	花・野菜を育てよう
6	相川小学校	気づき、考え、自ら行動する児童の育成
7	国母小学校	「新時代へ全力疾走」～輝け太陽のように！
8	甲運小学校	ハッピースマイル～高めよう友情・深めよう絆～
9	大里小学校	咲かせよう みんなの力で大里の花
10	羽黒小学校	友情 ～つどって わらって 羽黒小～
11	善誘館小学校	善誘館小学校や朝気ふれあい公園をきれいにする活動
12	芦安小学校	郷土を愛する心と夢を育み 未来を拓く人づくり
13	楡形西小学校	他との関わりの中で、互いに学びあう児童の育成
14	敷島北小学校	「ともに学び、ともに生きる、心豊かな子どもの育成」
15	押原小学校	健康・安全 防災について理解を深め、生命を守る
16	常永小学校	青少年赤十字活動を通した生きる力の育成
17	武川小学校	「思いやりの心を育み実践に生かそう」
18	日下部小学校	「自ら学び 心豊かで たくましく生きる児童の育成」…「気づき、考え、実行する児童の育成」…
19	後屋敷小学校	「心身ともに健康で 人間性豊かな たくましい子どもの育成」
20	山梨小学校	「人間性豊かに心身ともに健康で、たくましく学んでいく子供の育成」
21	八幡小学校	「生きる力を支える確かな学力の育成」～ICT を効果的に活用した、主体的・対話的で深い学びに向けた授業づくり～
22	奥野田小学校	笑顔いっぱい！ 一生懸命！ 心つながる奥野田小
23	大藤小学校	思いやり・協力し、郷土を愛する大藤の子ども達
24	松里小学校	地域の特色を生かした青少年赤十字活動
25	井尻小学校	気づき、考え、実行する学園
26	勝沼小学校	「気づき 考え 実行する児童の育成」
27	祝小学校	人・環境にやさしい学校
28	東雲小学校	自分の生活の中で、気づき・考え・実行する態度を養う
29	菱山小学校	小規模校のよさを生かし、奉仕と親善の精神を育成する
30	大塚小学校	安心安全な学習環境づくりを通して生きる力を育む

31	市川南小学校	ふるさとを愛し、自ら考え、共に行動できる児童の育成
32	市川東小学校	ふるさとを愛し、心身ともにたくましいこどもの育成
33	増穂南小学校	地域を愛し、思いやりの心を持つ児童の育成
34	早川北小学校	自ら学ぶ 明るく たくましい子どもの育成
35	甲府南中学校	気づき・考え・実行する生徒の育成
36	八田中学校	環境美化奉仕作業等を通して生徒の心を育てるとともに、人のために尽くす活動を行う。
37	白州中学校	自助・共助のための実践的防災教育を推進し、人道教育へとつなげる。
38	武川中学校	「自ら考え、意欲的に学び伝え合う生徒の育成」～「気づき」「考え」「実行する」活動を通して～
39	笛川中学校	学年関係なく仲が良く、協力し合う
40	松里中学校	心豊かに、より良い自分をめざし学び合う生徒の育成～「気づき 考え 実行する」活動を通して～
41	三珠中学校	「気づき 考え 行動する」生徒の育成
42	市川南中学校	「気づき・考え・行動する」生徒の育成
43	勝山中学校	『公の社会で活躍できる生徒の育成』～授業・集団づくりの両輪化と生徒・教職員・保護者・地域・専門機関等との連携を通して～
44	韮崎工業高等学校	あけぼの支援学校との交流
45	笛吹高等学校	「気づき・考え・実践する」活動を通して地域や企業、関連団体との交流を通して、主体的にできるボランティア活動について考え実践する。
46	上野原高等学校	防災に対する意識を高め、災害時の行動について深く学ぶとともに、主体的に行動する力を身につける。脱コロナ世界に向けて、今後の活動を考え、調べ学習や他者との交流を通じて、自らできることを実践する。
47	都留興譲館高校	社会問題と地域貢献～気づき・考え・行動する
48	かえで支援学校	つながる心 ～奉仕活動を通して～
49	ふじざくら支援学校	健康・安全活動

(3) 青少年赤十字加盟校・園(所)

幼稚園・保育園・こども園(37園)	双葉東小学校	甲西中学校
貢川進徳幼稚園	三村小学校	竜王中学校
城北幼稚園	玉穂南小学校	玉幡中学校

進徳幼稚園	田富小学校	竜王北中学校
聖愛幼稚園	田富北小学校	日本航空高等学校附属中学校
つつじ幼稚園	田富南小学校	玉穂中学校
上野原幼稚園	豊富小学校	田富中学校
市川南幼稚園	押原小学校	押原中学校
忍野幼稚園	常永小学校	明野中学校
みかさこども園	葦崎小学校	泉中学校
押原こども園	葦崎北東小学校	白州中学校
甲府あら川保育園	明野小学校	武川中学校
池田保育園	泉小学校	山梨南中学校
和泉愛児園	小淵沢小学校	山梨北中学校
かほる保育園	武川小学校	笛川中学校
くだま保育園	加納岩小学校	塩山中学校
甲運第一保育所	日下部小学校	塩山北中学校
すみよし愛児園	後屋敷小学校	松里中学校
玉諸保育所	日川小学校	勝沼中学校
中央保育所	山梨小学校	石和中学校
中道保育所	八幡小学校	御坂中学校
ファミリー・ドゥ・フレール保育所	岩手小学校	一宮中学校
北新保育所	笛川小学校	春日居中学校
宮前保育園	塩山南小学校	三珠中学校
なでしここども園	塩山北小学校	市川中学校
つつじが崎学園	奥野田小学校	市川南中学校
第2なでしここども園	大藤小学校	六郷中学校
認定こども園すみれ保育園	神金小学校	増穂中学校
白州保育園	玉宮小学校	早川中学校
後屋敷保育園	松里小学校	都留第一中学校
岩手保育園	井尻小学校	東桂中学校
山梨保育園	勝沼小学校	道志中学校
八日市場保育園	祝小学校	西桂中学校
八幡保育園	東雲小学校	忍野中学校
窪平保育園	菱山小学校	山中湖中学校
泉保育園	御坂東小学校	勝山中学校
内野保育所	一宮西小学校	大月東中学校
忍草保育所	一宮南小学校	猿橋中学校
小学校(95校)	一宮北小学校	上野原西中学校

湯田小学校	春日居小学校	上野原中学校
朝日小学校	上野小学校	秋山中学校
里垣小学校	大塚小学校	小菅中学校
相川小学校	市川小学校	高等学校(21校)
国母小学校	市川南小学校	北杜高等学校
北新小学校	市川東小学校	韮崎工業高等学校
甲運小学校	六郷小学校	甲府南高等学校
大里小学校	増穂南小学校	甲府工業高等学校
羽黒小学校	早川南小学校	農林高等学校
石田小学校	早川北小学校	日本航空高等学校
新田小学校	道志小学校	青洲高等学校
大国小学校	勝山小学校	身延高等学校
舞鶴小学校	初狩小学校	笛吹高等学校
善誘館小学校	大月東小学校	日川高等学校
新紺屋小学校	七保小学校	山梨高等学校
中道南小学校	猿橋小学校	都留高等学校
中道北小学校	鳥沢小学校	上野原高等学校
駿台甲府小学校	上野原西小学校	都留興譲館高等学校
豊小学校	島田小学校	吉田高等学校
櫛形西小学校	上野原小学校	富士北稜高等学校
落合小学校	秋山小学校	身延山高等学校
芦安小学校	丹波小学校	甲斐清和高等学校
白根飯野小学校	中学校(53校)	駿台甲府高等学校
若草南小学校	南中学校	山梨英和高等学校
南湖小学校	南西中学校	帝京第三高等学校
大明小学校	上条中学校	特別支援学校(8校)
白根百田小学校	笛南中学校	盲学校
玉幡小学校	山梨英和中学校	かえで支援学校
竜王南小学校	駿台甲府中学校	梨大附属支援学校
竜王西小学校	八田中学校	やまびこ支援学校
竜王東小学校	白根御勅使中学校	桃花台学園
敷島小学校	芦安中学校	わかば支援学校
敷島北小学校	若草中学校	ふじざくら支援学校
敷島南小学校	櫛形中学校	わかば支援学校ふじかわ分校
合計 214校・園		

(4) 青少年赤十字研究指定事業

令和4年度～令和5年度 笛南中学校 中道南小学校 中道北小学校
令和5年度～令和6年度 玉穂中学校 三村小学校 玉穂南小学校 豊富小学校

(5) 義援金・救援金等への協力

- 一円玉募金(青少年赤十字活動資金) 2校・園
みかさこども園、北杜市立泉小学校
- NHK 海外たすけあい 4校・園
和泉愛児園、池田保育園、みかさこども園、甲斐清和高等学校
- 令和5年7月7日からの大雨災害義援金 1校
甲州市立松里中学校
- 令和6年能登半島地震災害義援金 13校・園
和泉愛児園、押原こども園、甲府市立大里小学校、甲府市立国母小学校、中央市立田富小学校、甲斐市立敷島北小学校、笛吹市立一宮北小学校、甲斐市立竜王中学校、山梨市立山梨南中学校、甲州市立松里中学校、山梨県立北杜高等学校、山梨県立笛吹高等学校、山梨県立盲学校
- Bangladesh南部避難民救援金 1校
甲州市立松里中学校
- 中東人道危機救援金 1校
甲州市立松里中学校
- アフガニスタン人道危機救援金 1校
甲州市立松里中学校
- ウクライナ人道危機救援金 2校
甲州市立菱山小学校、甲州市立松里中学校
- 2023年トルコ・シリア地震救援金 1園
みかさこども園

5 献血事業について

血液製剤の安定供給体制を確保するために献血キャンペーンを実施し、県民の方々に献血に関する理解と協力を求めました。

キャンペーン名	月 日	会 場
愛の血液助け合いキャンペーン	令和5年7月16日(日)	イオンモール甲府昭和店
はたちの献血キャンペーン	令和6年1月 7日(日)	イオンモール甲府昭和店

6 赤十字社旨普及活動について

(テーマ)『人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.』

支部・病院・血液センターによる運動展開

(1) 広報活動

- 赤十字運動月間 2023 の実施
 - ・甲府駅ビルに懸垂幕の掲出
 - ・赤十字運動月間「レッドライトアッププロジェクト 2023」の実施
 - ・甲府駅南口にて該当キャンペーンの実施
- 報道各社協力によるPR活動
- 「赤十字やまなし」(事業報告兼広報)山梨県下全世帯30万部配布
- ホームページによる情報発信
- 市町村広報誌の協力によるPR活動
- 甲府商工会議所協力による PR 活動
- 山梨県広報誌「ふれあい」への広告掲載による PR 活動

(2) 日本赤十字社山梨県有功会

役員名

会 長	高野孫左エ門
副会長	進藤 中
	鬼頭 芳雄

会員数 259 名・社 (個人80名・法人179社)

年間行事

- ・役員会・総会の開催 7月12日(水) 会場:ベルクラシック甲府
- ・親睦・研修旅行の開催 8月10日(木) 東京・日本赤十字社本社他
- ・仲間づくり運動と会員募集運動の推進
- ・支部事業への協力
- ・国際協力(ウクライナ人道危機救援金拠出)

II 施設事業について

1 山梨赤十字病院

令和5年度は新型コロナウイルスの感染症法の位置づけが季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行しました。毎日行われてきた厚生労働省による全国の新規感染患者数の発表も5月8日が最後となりました。

これにより、ゴールデンウィークを境にアフターコロナの動きが全国的に活発となりコロナ前の生活環境を取り戻しつつあります。当地域は富士山をメインとした世界的観光地であり夏からこの春にかけて世界からのインバウンド観光がコロナ前以上に旺盛となり凄い賑わいとなっております。日本もウイズコロナからアフターコロナへ大きく転換したと実感した年でありました。

一方、病院経営としては新型コロナウイルス感染症により医療機関からの診療抑制、患者さんからの受診抑制とが相関的に発生したことが入院・外来患者数ともに激減し、新型コロナウイルス感染症の発生前の状況が回復できず経営悪化に陥っている要因であります。

また、この未曾有の感染症流行により、流行以前に検討し導入を図ろうしていた改革として(1)医師の働き方改革、(2)地域医療構想の実現、(3)医療と介護の連携並びに在宅医療の推進(4)新規医療技術のイノベーション等、がありました。それぞれ項目に関して大幅な再検討をすることを余儀なくされております。

特に(2)地域医療構想の実現は最大の眼目は我が国の病床数・病院数を削減していくことでありましたが、コロナ感染症の蔓延でベッド確保が急務となり翻弄され国も医療界も混乱しております。当院もこの状況下で当院の実態と医療制度改革とのミスリードを発見し未来を見越した変革を実践するため、選択と集中をテーマに課題の抽出を実践し病院機能の改革に取り組んできました。

病院運営概要は以下のとおりです。

○ 医療供給体制

(1) 医療従事者確保に向けた対応

令和5年度は全国的に看護師を軸として医療従事者の確保が重大な課題となった。当院においても前年度の離職者数を補う人数が確保できず病棟運営に多大な影響が生じる年度となった。入院患者数も大幅に減少していたが労務管理基準への問題が発生したため対策として1病棟(53床)の閉鎖を実施し他病棟への看護師の配置数を引き上げた。これは令和6年度も継続して閉鎖した状態のままである。おもに看護職員で構成される労働組合とは労働争議に発展している。

(今後の対応策)

- ① 病棟単位での適正な看護師配置人数の把握
- ② 他施設ガイドラインによる勤務シフト表の構築
- ③ 看護師の有給休暇・振替休日の管理
- ④ 看護師、介護福祉士、看護助手、社会福祉士などの派遣委託業者の積極利用

- ⑤ 赤十字病院グループへの積極的な派遣要請
- ⑥ 外部コンサル業者による病棟業務実態調査の実施

(2) 医師の働き方改革への対応

新たな対応として、コロナ禍で強引にも医師の働き方改革が推し進められるなか派遣元大学で産婦人科の医師不足が深刻化、当院と富士吉田市立病院との間で周産期医療に関する連携を行うことによるセカンドオンコール体制の整備により医師の負担軽減を図ることを目的とした病院間協定書をこの3月末に締結し対応を開始した。

「医師の時間外労働規制について」への対応としてA水準(医師1人の年間の時間外労働960時間以下)での運用で決定しこの4月より開始している。また、産婦人科・小児科については労働基準監督署へ宿直許可申請を実施し許可を取得済みとなっている。

(3) 地域医療構想への取り組み

(地域包括医療病棟入院基本料1の取得)

ウイズコロナで混乱する医療界が立ち直りかけているさなかでも国策である地域医療構想は推進されている。地域医療構想の最大の眼目は病床数・病院数の削減であったが各構想区域内で最終着地点は見いだされてはいない。そのなか当院は2024年度診療報酬改定で新たに新設された「地域包括医療病棟入院料1」の施設基準の取得を目指すこととする。要因は富士・東部医療圏の人口は2040年に向け大幅に減少するなか65歳以上の高齢者は2025年度以降も横ばいのトレンドで推移することが見込まれている。

65歳以上の高齢者の救急受け入れから在宅復帰まで支援する新たな施設基準の取得でより地域の医療ニーズにマッチした体制の整備が図られる。

3階東急性期一般病棟(53床)を地域包括医療病棟(46床)へと回復期仕様の改修工事を実施する計画である。

(4) 新たな新型感染症発生時への事前対策

(感染管理のための設備工事の実施)

約3年間の新型コロナウイルス感染症の院内クラスターの発生により病院運営におけるの苦い経験を活かすため、新たな隔離管理の必要となる感染症が発生した場合を想定する。

2階・3階東急性期一般病棟の全面改修工事を計画しているなかで、新たな感染症のパンデミックが発生した場合を想定し個室19床を完全な隔離管理できるための設備工事を計画する。ウイルスの室外への暴露を防止するため全室の空調を陰圧に転嫁するため設備を設置、またユニット型のトイレ・シャワーを設置する。また感染患者の専用導線を確保するためのゾーニングパネルの整備を検討する。この整備により他の感染症で重篤状態の感染患者の管理体制も十分に図られる。

○ 赤十字施設としての取り組み

(1) 能登半島地震災害救護活動について

近年は台風、豪雨、猛暑、豪雪などの異常気象など自然災害が多発するなか、令和6年1月1日に石川県能登地方で最大震度7を観測する大規模地震が発生し甚大な被害が発生した。

当院はDMATからの派遣要請により、地震発災翌日の1月2日～4日までDMAT隊5名を現地の七尾市に派遣し災害救護を開始した。発災直後のためライフライン・インフラの崩壊と極寒により災害救護は難航を強いられた。交代部隊の到着で5日に山梨に無事帰還となる。

日本赤十字社山梨県支部の災害救護班は最も被害が大きかった珠洲市が派遣場所となった。第1班は1月24日～29日まで8名体制、第2班では2月5日～10日まで7名体制、第3班は2月19日～24日まで7名体制の計3班で救護活動を展開した。

珠洲市では主に老人ホーム、介護施設など健康に著しく不安のある人を中心とした巡回診療が主な活動であった。

発災後日々時間の経過に伴い活動内容、活動範囲、現場からの医療ニーズは顕著に変化していき感染対策も含めた活動体制を見直しながら活動を実施した。

能登半島地震災害救護活動では医師4名、看護師9名、業務調整員14名が活動をおこなった。

2 山梨県赤十字血液センター

日本赤十字社では、平成 24 年度より血液事業の運営体制を広域化し、全国を 7 つのブロックに分け都道府県の枠を超えての需給体制を構築しており、「効率的な事業運営」、「血液製剤の安全性の向上」及び「安定供給の確保」が図られているところです。

山梨県赤十字血液センターについては、関東甲信越ブロック(1 都 9 県)とともに「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」や「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」などの関係法令を遵守した事業管理体制を構築して事業に取り組んでおります。

(1) 血液製剤の安定供給

令和 5 年度は、赤血球製剤は前年度比 1.5% 減少、血漿製剤は 14.5% 減少、血小板製剤は 15.0% 減少しました。全体としては 9.4% 減の供給となりました。

赤血球製剤は、前年度と比較してわずかに減少となりました。血漿製剤について、令和 4 年度は血漿交換の症例数が例年より多かったことに伴い増加傾向に転じましたが、令和 5 年度は血漿交換の症例数が一昨年並みとなりました。これにより一昨年並みの供給実績となり、前年度実績より大きく減少しました。血小板製剤は、主要医療機関の 1 つで、血液内科の医師数が減少し、新規患者の受け入れが困難な状況となったため、前年度に比べ大きく減少しました。

このように、血漿製剤及び血小板製剤は減少しましたが、1 週間を基軸とした綿密な需要予測と広域需給管理体制のメリットを最大限に生かすことにより、過不足のない安定した供給ができました。

供給実績 (200mL 献血由来製剤を 1 単位とする)

区分	全血製剤	赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤	合計
令和 4 年度実績	0	38,820	14,363	41,955	95,138
令和 5 年度実績	0	38,256	12,280	35,645	86,181
前年比		98.5%	85.5%	85.0%	90.6%

(2) 献血者確保状況

令和 5 年度は、新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴い、献血バスの受入については制限が緩和されコロナ禍以前の状況に近づいた 1 年となりました。

また、既存の献血協力団体に加え、新規団体の発掘を行い、採血バス 1 台あたり 400mL 献血で 50 人の確保を目標に、担当者との打ち合わせ、広報活動、献血セミナーの実施や献血経験のある方へのハガキ・メールによる依頼などを行うことで、必要な献血量を確保できました。

献血ルームでは、移転から 1 年が経過し、移転当年の昨年度比ではやや増加し年間計画は達成しました。毎月の計画に対してはメール依頼を続けた他、季節キャンペーンの実施などで確保しており、綱渡り状況が続いています。移転前レベルに回復する状況には至っていないが、認知度向上に向けた新たな看板設置や駐車場の移転など取り組みを行いました。

昨今、拡大した新たな献血のかたちである予約献血は、献血ルームでは多くの方に利用されており、

その有用性から、毎月、成分献血の予約者限定日を設け、献血者より好評を博しています。成分献血の予約献血率は90%を超えています。献血バスの会場でも予約献血を推進しており、徐々に予約献血が浸透しつつあります。

全血献血に占める 400mL 献血の割合については、高等学校以外の献血会場で 400mL 献血を強力に推進した結果、対前年度比 0.3%上昇し 97.2%となり医療機関の需要により近づくことができました。

若年層献血の推進については、新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴い、高等学校や大学・専門学校でも献血を実施することができました。また、献血の重要性を高校生に知ってもらうための献血セミナーの実施や、受付時間の短縮を図るために、献血 Web サービス「ラブラッド」を使用した、献血の予約・事前問診の推進を行いました。

採血実績

(単位:人)

区分	200mL	400mL	成分	合計	計画人数	計画比
移動採血	632	16,255	0	16,887	16,367	103.2%
献血ルーム	61	7,505	12,088	20,142	18,182	110.8%
合計	693	23,760	12,088	37,029	34,549	107.2%

(3) 輸血用血液製剤の安全対策

従来から実施している献血受け入れ時の献血者の本人確認の実施など、「安全性の向上」に向けた 8 項目の対策を適切に実施しました。

(4) 各種キャンペーン・イベントの推進

若年層献血・複数回献血の推進に努め、成分献血・400mL献血の理解促進に主眼をおいたキャンペーンを実施しました。

実施月日	キャンペーン名	場所	内容	献血者数
令和 5 年 6 月 11 日	世界献血者デー	イオンモール 甲府昭和	街頭献血イベント	61 人
7 月 16 日	愛の血液 助け合い運動 街頭献血 イベント	イオンモール 甲府昭和	街頭献血イベント	70 人
8 月 6 日	シャレン！で献血	小瀬スポーツ公園	街頭献血イベント	59 人

9月9日	ヴァンフォーレ甲府応援献血	小瀬スポーツ公園	街頭献血イベント	41人
12月17日	全国学生クリスマス献血キャンペーン	イオンモール甲府昭和	学生献血推進協議会による街頭献血イベント	78人
令和6年1月7日	はたちの献血街頭献血イベント	イオンモール甲府昭和	街頭献血イベント	70人
2月23日	ふじさん献血	イオンモール甲府昭和	静岡県赤十字血液センターとの合同献血イベント	76人
通年	令和5年度献血推進方策		各種キャンペーン、CM放送による若年層への献血啓発	
通年	VF甲府とのコラボ企画		ポスター・クリアファイルの作成・配付、献血啓発	

(5) 医薬情報活動

① 医療機関への情報提供

輸血用血液製剤に関する情報提供について、下表のとおり情報媒体を県内医療機関へ配付しました。また、輸血管理部門担当者や医師・看護師等を対象とした説明会や医療機関の理解を得て院内輸血療法委員会へ出席し、情報提供をしました。

お知らせ

発行年月	内容
令和5年11月	新記載要領に基づく輸血用血液製剤の電子化された添付文書改訂のお知らせ
令和6年2月	照射凍結赤血球-LR「日赤」用時解凍洗浄(薬価基準未収載医薬品)製造販売承認取得のお知らせ

輸血情報

発行年月	内容
令和5年8月	2308-180 輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症症例-2022年-
令和5年8月	2308-181 赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血用副作用-2022年-

②医療機関との連携

医療機関との連携による輸血副作用情報の収集について、13 施設から 171 件を収集しました。

③看護師対象の輸血基礎セミナーの開催

県内医療機関における輸血医療の向上を目的として看護師対象の輸血セミナーをオンラインで開催しました。

開催年月日	セミナー名	内 容	参加者
令和 5 年 7 月 20 日	応用編輸血セミナー	講演「血液製剤の種類と特徴・安全対策、輸血副作用の発生状況と事例紹介、看護現場における輸血 Q&A」	15 施設 32 名
令和 5 年 9 月 27 日	基礎編輸血セミナー	講演「安全な輸血のための基礎知識」 実習「輸血セットの取り扱い」(希望者のみ)	12 施設 30 名

④医療機関での説明会・輸血療法委員会への参加

輸血管理部門担当者や医師・看護師等を対象とした院内説明会を 10 回開催しました。また、医療機関の理解を得て院内輸血療法委員会へ 3 施設出席しました。

⑤医療機関との連絡調整会議の開催

山梨県では「山梨県合同輸血療法委員会」を設置し、血液製剤の適正使用の推進及び安全な輸血医療の確保に取り組んでおり、血液センターも委員として参加し協力しました。

開催年月	会議名	内 容
令和 5 年 6 月	山梨県合同輸血療法委員会 (オンライン)	令和 4 年度事業報告 令和 5 年度事業計画案 令和 4 年度の当県の現状について
令和 6 年 2 月	山梨県合同輸血療法委員会 委員長会議 (オンライン)	令和 4 年度事業報告及び令和 5 年度事業進捗状況について 令和 4 年度の当県の現状について 合同輸血療法委員会からのお知らせ ・輸血関連インシデントの共有について ・I&A 委員会からの報告 血液センターからのお知らせ 日本輸血・細胞治療学会 I&A について

令和6年3月	山梨県合同輸血療法委員会 血液製剤の需給に係る連絡会議 (オンライン)	令和4年度の当県の現状について 輸血関連インシデントについて ・輸血関連インシデントの収集・共有 の取り組みについて ・事例共有 山梨県合同輸血療法委員会 I&A 委員 会からのお知らせ ・今年度の相互査察実施状況 ・来年度の相互査察実施予定 血液センターからの情報提供・意見交 換
令和5年6月	第1回 I&A 委員会(オンライン)	今年度の活動計画について 相互視察に向けて指摘事項等の確認
	第2回 I&A 委員会(オンライン)	相互視察に向けて指摘事項等の確認
令和5年7月	I&A 委員会 相互視察(オンライ ン)	相互視察 (対象:山梨赤十字病院)
令和5年8月	第3回 I&A 委員会(オンライン)	相互視察後の対応の確認
令和5年11月	第4回 I&A 委員会(オンライン)	相互視察に向けて指摘事項等の確認
	第5回 I&A 委員会(オンライン)	相互視察に向けて指摘事項等の確認
	I&A 委員会 相互視察	相互視察 (対象:市立甲府病院)
	第6回 I&A 委員会(オンライン)	相互視察後の対応の確認
令和6年3月	第7回 I&A 委員会(オンライン)	相互視察に向けて指摘事項等の確認
	第8回 I&A 委員会(オンライン)	相互視察に向けて指摘事項等の確認
	I&A 委員会 相互視察(オンライ ン)	相互視察 (対象:山梨厚生病院)

⑥山梨輸血研究会

山梨輸血研究会は、県内輸血医療関係者で構成されている研究会で、血液センターが事務局をしています。輸血医療の向上と情報交換を目的とし、研究会の開催や会報の発行、ホームページの管理を行っています。

令和5年度も感染症対策を施しながら、現地とオンライン配信のハイブリッド形式で開催しました。

<p>第39回 山梨輸血研究会総会</p>	<p>開催日:令和6年3月2日(土) 開催方法:ハイブリッド形式 場 所:山梨大学医学部 臨床講義棟小講堂 Microsoft Teams 一般演題:4題 特別講演 「血小板製剤への細菌スクリーニングの導入」 日本赤十字社 血液事業本部 技術部 臨床開発課 池上 正純 先生</p>
---------------------------	---

(6)骨髄バンクへの協力状況

①ドナー(骨髄提供希望者)登録受入及び検体採血

②ドナー登録会への協力

③令和6年3月末現在 県内有効登録者数 2,121人 全国 554,123人

(7)会議、研修会等の開催と参加

県や献血関係諸団体等と連携し、研修会等を開催しました。

* 諸会議

実施月日	会議名	場 所	内 容
令和5年 4月28日	山梨県献血推進協議会総会	山梨県防災新館	事業報告及び山梨県献血推進計画(案)の協議、献血及び供給の現状の説明
5月25日	血液事業推進会議・市町村血液事業担当者会議	山梨県防災新館	事業報告及び山梨県献血推進計画の説明、献血及び供給の現状の説明、予約献血の推進
11月29日	ライオンズクラブ国際協会330-B地区と赤十字血液センター合同会議	ベルクラシック甲府	血液事業の現状及び今後のお願い、講演「(泌尿器科からみた)糖尿病のお話」、献血活動について(事例発表)

令和6年 2月28日	血液事業推進会議	オンライン会議	山梨県献血推進計画(案)について、献血・供給の状況及び計画について、献血団体名簿について、各保健福祉事務所の献血推進状況について
---------------	----------	---------	--

* 研修会等への参加

実施月日	研修会名	会 場	参加人数
令和5年 7月4日	西桂町献血推進協議会	西桂町いきいき健康福祉センター	30人
9月5日	山梨県高等学校・特別支援学校長連絡会	甲府商科専門学校	35人
12月14日	第5回山梨県高等学校・特別支援学校養護教諭連絡会議	山梨県総合教育センター	50人

* 若年者献血セミナー事業

実施月日	研修会名	会 場	参加人数
令和5年 6月8日	献血に関するセミナー	身延山高等学校	28人
8月25日	献血に関するセミナー	山梨県立大学(池田キャンパス)	15人
9月25日	献血に関するセミナー	県立上野原高等学校	143人
9月26日	献血に関するセミナー	山梨大学(甲府西キャンパス)	15人
11月15日	献血に関するセミナー	県立塩山高等学校	110人
12月1日	献血に関するセミナー	県立白根高等学校	145人
12月13日	献血に関するセミナー	県立身延高等学校	63人
令和6年 2月2日	献血に関するセミナー	県立富士北稜高等学校	187人
2月14日	献血に関するセミナー	甲斐清和高等学校	179人
2月14日	献血に関するセミナー	県立甲府工業高等学校	249人

(8) 献血推進功績者に対する表彰

① 第 59 回献血運動推進全国大会

令和 5 年 7 月 26 日に千葉県(千葉ポートアリーナ メインアリーナ)において開催されました。

献血推進に功績のあった県内 1 団体に厚生労働大臣表彰状、2 団体に厚生労働大臣感謝状が、後日行われた「献血感謝のつどい in 山梨」において贈呈されました。

② 献血感謝のつどい in 山梨

令和 5 年 10 月 30 日に防災新館やまなしプラザ(オープンスクエア)において実施されました。

献血推進に功績のあった 5 団体と個人 10 人に山梨県知事表彰、個人 50 人に日本赤十字社表彰(金色有功章)、93 人に日本赤十字社表彰(銀色有功章)が贈呈されました。

③ 多回献血者顕彰(献血現場にて記念品を贈呈)

献血回数	10 回	764 名
	30 回	298 名
	50 回	157 名
	50 回以上※	48 名
合 計		1,267 名

※令和 2 年 11 月より献血者顕彰規程が改正されました。